



vol.32



市消防本部 0123

冬の救急事情

寒くなると、救急出動件数が多くなりますが、これは寒さや冬場に活発となるウイルスなどによって、さまざまな体の不調が起こりやすくなるからです。

高血圧を例に挙げると、朝、起き抜けは心臓が多量の血液を全身に送って体にエンジンをかけようとするため、血圧が高めになります。血管が収縮し、血流が悪くなる冬場はさらに負担がかかるため、血圧が上がりやすくなるのです。また、冬の脱衣所や浴室、トイレなどは急激な温度差による血圧の急上昇を起こしやすいため、室温にも気を配るようにしましょう。

心臓性突然死を防ぐ 『AED(自動体外式除細動器)』

国内では、毎日百人近くの人が心臓疾患による突然死で亡くなっているといわれ、その多くは、心臓が突然震え出し、ポンプ機能が失われる「心室細動」が原因とされています。

AED (Automated External Defibrillator) とは、日本では自動体外式除細動器と呼ばれてお



AEDによる除細動

り、心室細動になったとき、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器です。AEDの使用は医療行為に当たり、従来は医師および医師の指示の下に看護師、救急救命士が使用でき、一般市民は使用することができませんでしたが、平成十六年七月一日から一般市民もAEDを使用できるようになりました。一九番通報してから救急車が現場に到着するまで平均六分程かかり、心肺停止時には、その場に居合わせた家族や同僚などの迅速な除細動と心肺蘇生が不可欠なのです。今後、消防本部では、心肺蘇生法の講習とともにAED講習の開始を予定しています。詳しくは、市消防本部へどうぞ。



獣医さんのひとことアドバイス

冬は猫もおしっこが近くなる?→×

陶の里動物病院 富田幸伸先生

寒さが厳しくなるこの時期に多い猫の病気の一つとして「尿路結石症」があります。頻繁にトイレに入っては、長い時間力んでいるのにあまりおしっこが出ないとか（便秘と誤解しないように!）、血尿が出たとかは要注意です。特に雄猫は尿道が細いため、「尿道閉塞」を起こしやすく、短時間で重篤な状態に陥る場合があります。予防としては、①適切な食餌を与える ②新鮮な水が常に飲めるようにする ③トイレを常にきれいにして排尿を我慢させないことなどが大切です。

ペット大募集!

このコーナーで紹介させていただくペットを募集します。お宅のかわいいペットの情報をお寄せください。（広報広聴係・内線186）



Welcome to the Petland!

ペットランド 第3回 へようこそ

今月のペット



三浦繁久さん宅（土岐津町）の ミユ君・オス4歳



特に特技ってものはありませんが、ネコ科魂ってやつですか、狩りには結構自信があります。

定番のネズミはもちろん、トカゲやヘビ、鳥なんかも捕まえます。獲物は、日ごろの感謝を込めて、ご家族にプレゼントするんですが、悲鳴を上げられたり、なぜだか皆さん迷惑顔なのがちょっと解せません…。

